

11/23毎日

コロナ国内死者2000人超

7月以降、大阪・沖縄増加

新型コロナウイルスによる国内の22日の死者数は7人で、累計2001人となつた。死者はこれまで42都道府県で確認され、全体の死者数が1000人に達した7月20日時点より9県増えた。新型コロナの被害が増えた。

地方に拡大していることを改めて示した形だ。東京都では7月以降、死者の増加ペースが緩やかになつていて、大阪府や沖縄県など

の増加が目立つていて、都道府県の発表や、クルーズ船と空港検疫で確認された死者計14人の資料などをもとに毎日新聞が集計した。性別や年齢などを非公表とする自治体もあるが、取材などで確認できたもの

はカウントした。

性別では男性1118人、女性602人。年齢別

でみると80代が34%で最も多く、70代以上で74%を占めた。60代は8%、50代は3%だった。

都道府県別にみると、東

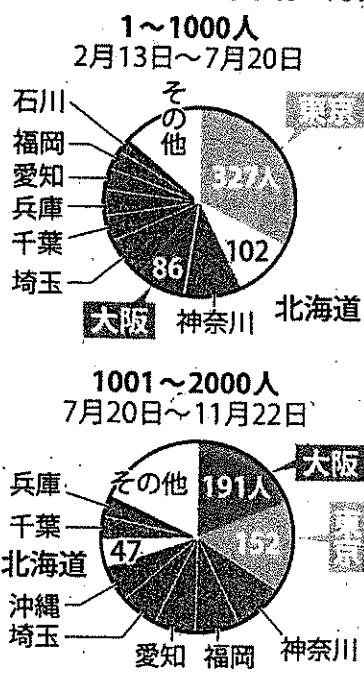
京都479人、大阪府277人、神奈川県185人――の順となっている。

死者数の推移をみると、「第1波」の到来で5月は400人を超えたが、6月は100人を下回った。しかし、夏になると「第2波」に見舞われ、8月と9月の死者数は300人近くにまで増えた。その後は大幅には死者数が減らないまま

今後増加ペースが速まる可能性がある。

全体の死者が1000人に達した時点で最も多かったのは東京都の327人で、北海道102人、神奈川県98人、大阪府は86人だった。

新型コロナの都道府県別の死者



【島田信幸、内橋寿明】